



PRO CHEF

キャベツスライサー

取扱説明書

キャベツスライサー

型式/SS6300



- このたびは、プロシェフ キャベツスライサーをお買い求めいただきましてまことにありがとうございました。
- この製品を安全に正しく使用していただくために、お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みになり十分に理解してください。なお、正しくご使用されなかった場合は、保証対象外となります。
- お読みになったあとは必ずいつも手元においてご使用ください。

お客様用



も く じ

■安全上のご注意	1
■各部のなまえとその働き	4
■付属品・注意ラベルの貼付位置	5
■設置と運転前の確認	6
■ご使用方法	7
●運転の手順	7
●プロテクターについて	8
■お手入れ	9
●毎日のお手入れ	9
●汚れが目立つときのお手入れ	10
■刃物の研ぎ方	11
■点検	12
●1年に1～2回の点検	12
●保管方法	12
■譲渡・廃棄	12
■故障の見分け方と処置方法	13
■仕様	14
保証書・アフターサービスについて	巻末

CHUBU
株式会社 中部コーポレーション




安全上のご注意

- ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ず守ってください。
- 表示と意味は次のようになっています。

	警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が、想定される内容を示します。
	注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、*物的損害の発生が、想定される内容を示します。

*物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害を示します。

図記号の例

 感電注意	△は、注意（危険、警告を含む）を示します。 具体的な注意内容は、△の中や近くに絵や文章で示します。 左図の場合は「感電注意」を示します。
 分解禁止	⊘は、禁止（してはいけないこと）を示します。 具体的な禁止内容は、⊘の中や近くに絵や文章で示します。 左図の場合は「分解禁止」を示します。
 プラグを抜く	●は、強制（必ずすること）を示します。 具体的な強制内容は、●の中や近くに絵や文章で示します。 左図の場合は「差込みプラグをコンセントから抜くこと」を示します。

警告

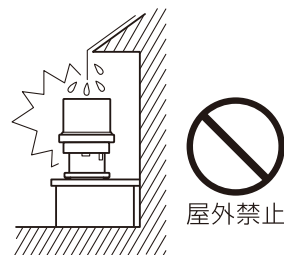
お手元に届いたら、すぐに運送上の損傷がないかチェックすること

もし損傷があれば販売会社へ損傷の状況を（梱包箱と共に）連絡してください。損傷のまま使用すると、感電、火災、ケガの原因となります。



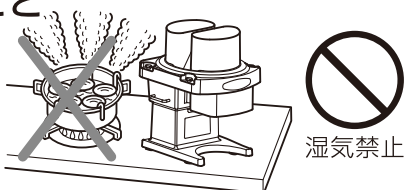
屋外で使用しないこと

雨水のかかる場所で使用されますと、漏電・感電の原因になります。



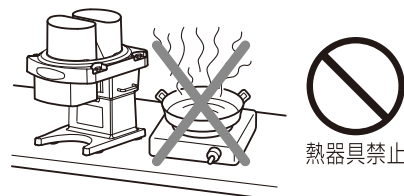
湿気の多い所や、水のかかり易い場所に据え付けないこと

絶縁低下から漏電、感電の原因になります。



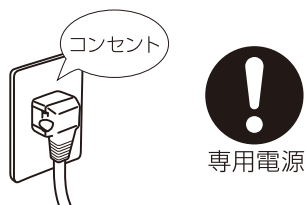
熱器具（ガスコンロ等）を周囲に置かないこと

熱でプラスチックが溶けたりして危険です。



電源は専用コンセントを使用すること

電源コードは途中で接続したり、延長コードの使用及びタコ足配線をした場合には、感電や発熱、火災の原因になります。



この製品は業務用ですので子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところに設置しないこと

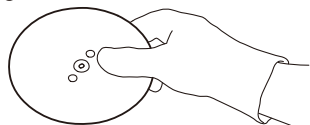
感電、ケガの原因になります。



警告

刃物の取り扱いには、必ず手袋を着用すること

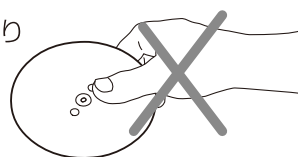
ケガの原因になります。



手袋着用

刃物の取り付け、取り外しは電源スイッチをOFF (切) にし、電源プラグをコンセントから抜き、手袋をはめて行い、刃先に直接手を触れないこと

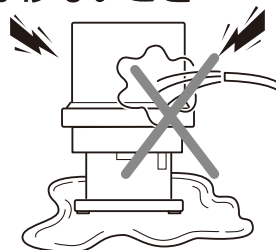
ケガの原因になります。



プラグを抜く

製品に直接水をかけないこと

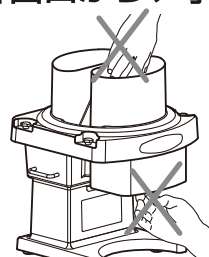
ショート、感電、錆び、故障の原因になります。



水掛け禁止

運転中に投入口や排出口から、手や指を入れないこと

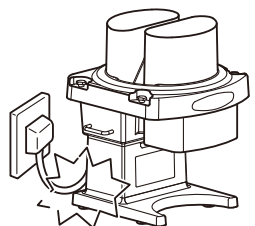
ケガの原因になります。



禁止

電源コードを傷つけたり、汚さないこと

加工したり、引張ったり、たばねたり、重いものを載せたり、はさみ込んだり、また汚したりすると、電源コードが破損し、感電、火災の原因になります。



禁止

使用中に漏電遮断器が作動した場合には、最寄りの代理店へ連絡すること

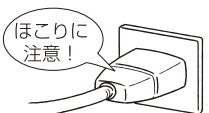
無理に漏電遮断器をON (入) にすると、感電や火災の原因になります。



漏電連絡

電源プラグの刃及び刃の取り付け面にほこりが付着していないか定期的に確認し、ガタツキのないように刃の根元まで確実に差し込むこと

ほこりが付着したり、接続が不完全な場合は、感電、火災の原因になります。



点検掃除

濡れた手で電源プラグなど電気部品に触れたり、電源スイッチを操作しないこと

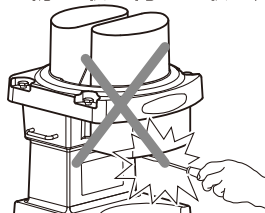
感電の原因になります。



濡手禁止

修理技術者以外の方は絶対に分解したり、修理しないこと (刃物の取り付け・取り外し、お手入れ作業は除く)

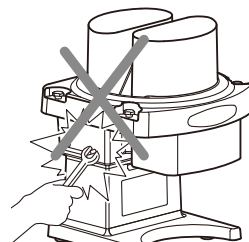
異常作動してケガをしたり、修理に不備があると感電、火災などの原因になります。



分解禁止

改造は絶対におこなわないこと

改造工事をされると、感電、火災の原因になります。

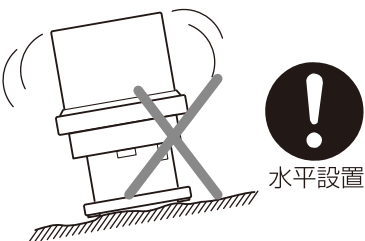


改造禁止

⚠ 注意

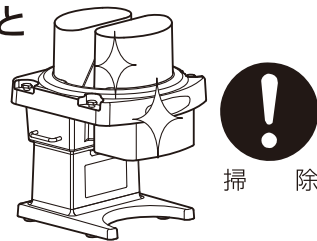
丈夫で平らな所に水平になるように据え付けること

据え付けに不備があると転倒、落下によるケガなどの原因になることがあります。



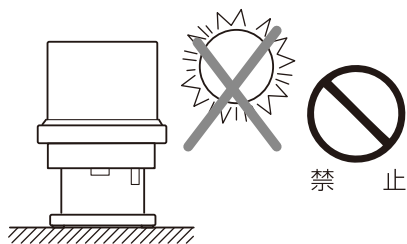
切削台や切削ドラム等、各パーツは使用前に必ず掃除すること

掃除をしないと、雑菌が繁殖し、健康傷害の原因になることがあります。



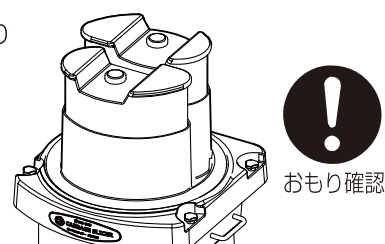
直射日光の当たるところで使用しないこと

プラスチックが割れたりして危険です。



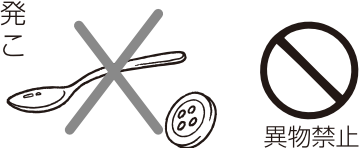
付属されたおもり以外は使用しないこと

故障やケガの原因になります。



投入口の中に食材以外の異物（スプーン・つま楊枝・ボタンなど）は入れないこと

モーターが止まり、発熱、火災の原因になることがあります。



可燃性スプレーを近くで使用したり、揮発性、引火性のあるものを置かないこと

スイッチの火花などで引火し、発火の原因になることがあります。



電源プラグを抜くときは、電源コードを持って抜かないこと

必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引張るとコードが傷つき、火災、感電の原因になることがあります。



1日の営業が終了したら、安全のため電源スイッチをOFF(切)にし、電源プラグをコンセントから抜くこと

電源プラグやコンセント部にほこりが溜まって発熱、発火の原因になることがあります。



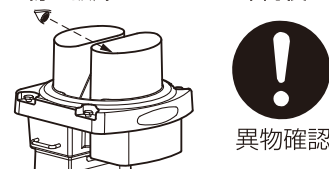
掃除するときや点検のときは、必ず電源スイッチをOFF(切)にし、電源プラグも抜くこと

思わぬところに水が入って感電したり、製品が動き出してケガの原因になります。



運転中にモーターが止まったときは、必ず電源スイッチをOFF(切)にし、電源プラグを抜き、切削した食材は捨て、食材以外の異物（スプーン・つま楊枝・ボタンなど）や刃物の破片がないことを確認後、必ず捨てること

故障の原因になります。

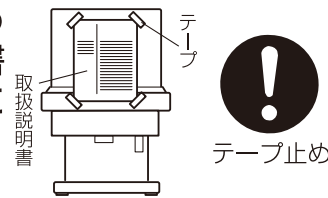


廃棄は専門の業者か、最寄の代理店に依頼すること

放置しますとケガの原因になることがあります。刃物は危険な物として処理してください。



このお使いになっている製品を他に売ったり、譲渡されるときは、新しく所有者となる方が安全な正しい使い方を知るために、この取扱説明書を製品本体の目立つ所にテープ止めすること

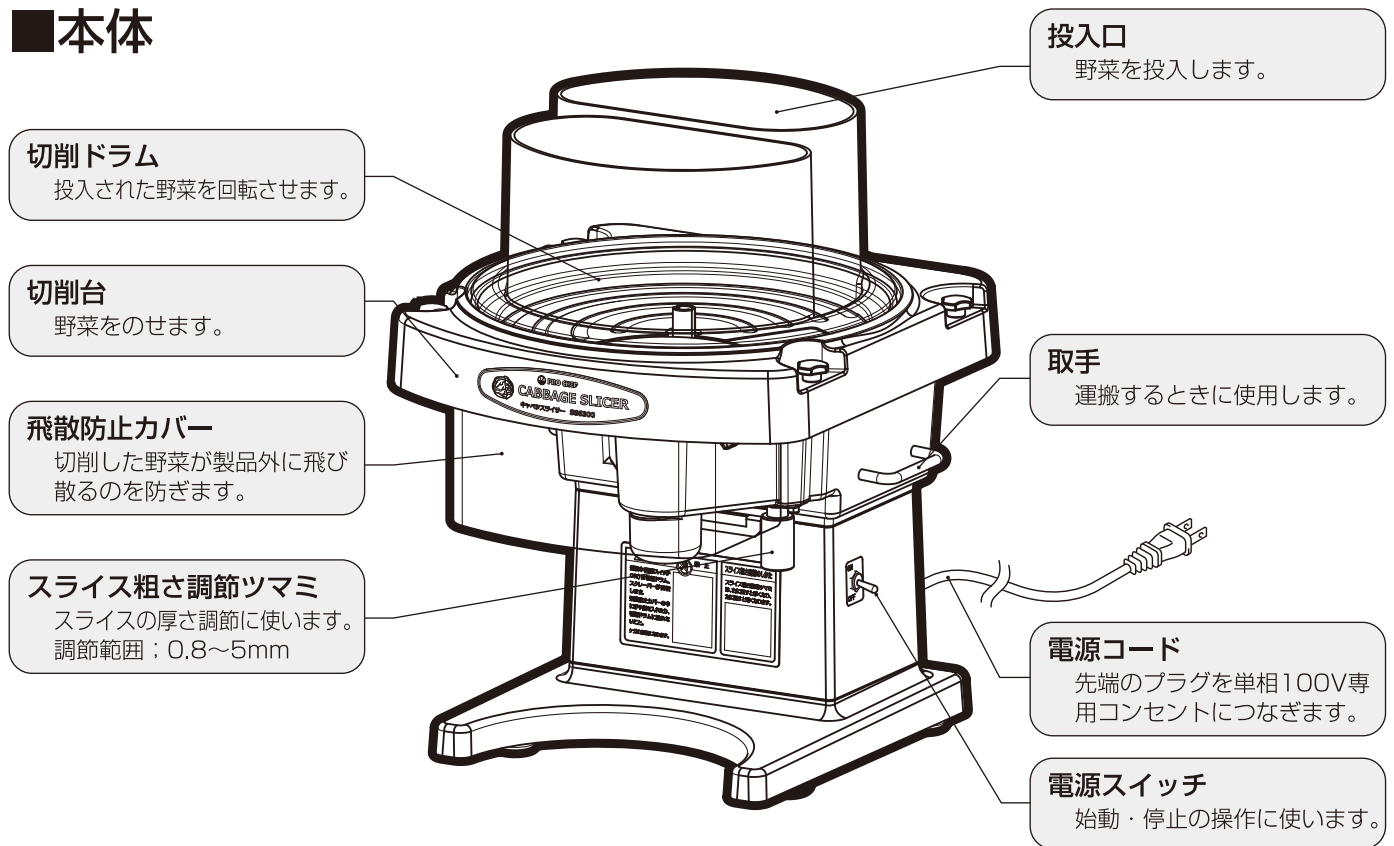


各部のなまえとその働き

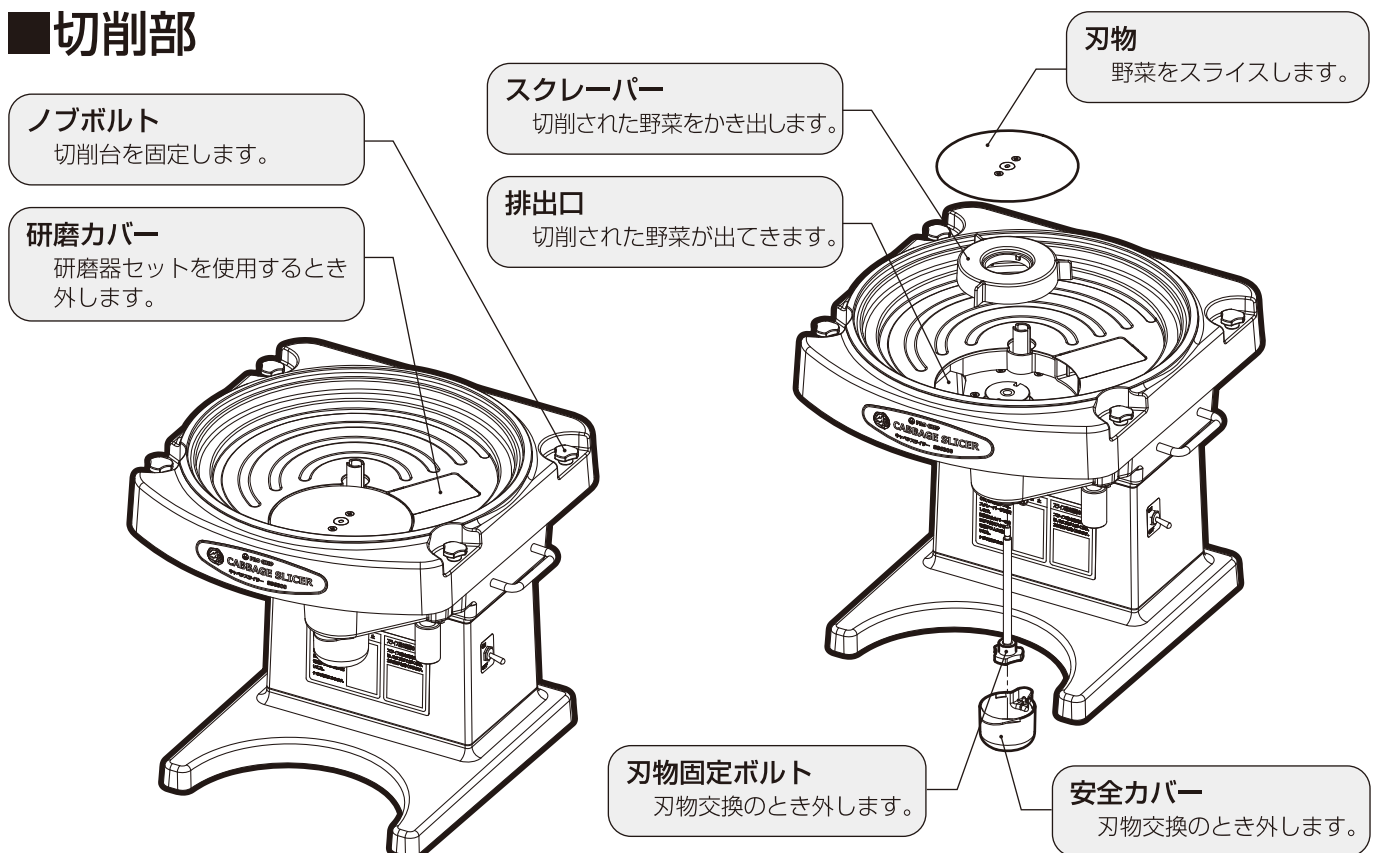
■使用目的

●本機はキャベツをスライスする製品です。

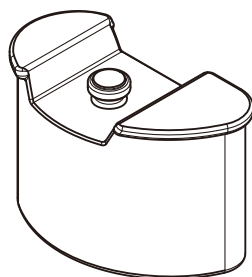
■本体



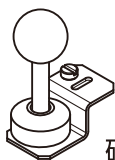
■切削部



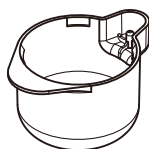
■付属品



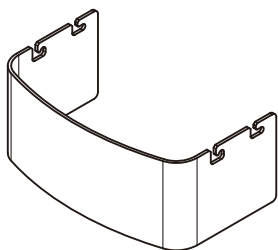
おもり (2個)



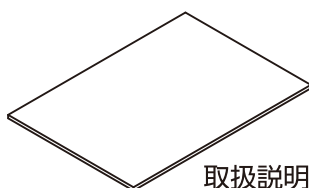
研磨器セット
(1個)



安全カバー
(1個)

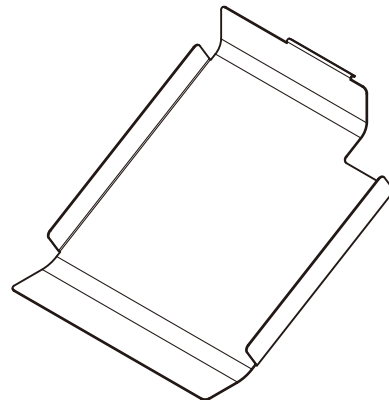


飛散防止カバー (1個)



取扱説明書
(本書)

■オプション

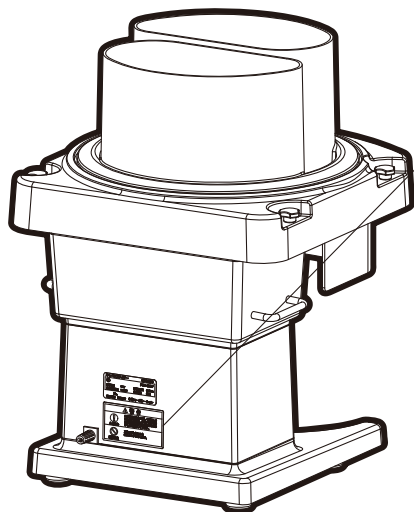


排出補助板 (1個)

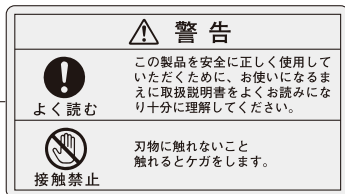
■注意ラベルの貼付位置

お願い

- ラベルを剥がさないでください。
- ラベルが剥がれたり、文字が消えたりした場合は、販売店より購入し、貼り替えてください。
ご注文のときは、ラベルの品名をご指示ください。



品名：PLラベル C

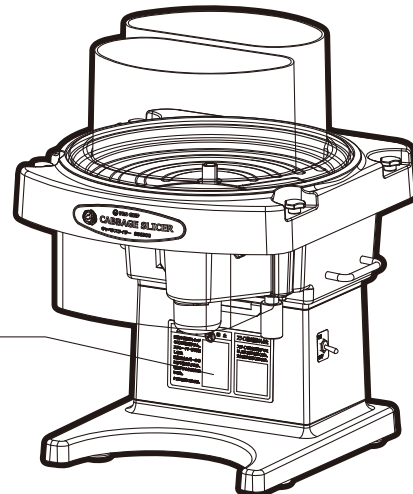


(背面に貼り付けてあります)

品名：注意ラベル



(前面に貼り付けてあります)



設置と運転前の確認

■設置

⚠ 警告

電源は専用コンセントを使用すること

電源コードは途中で接続したり、延長コードの使用及びタコ足配線をした場合には、感電や発熱、火災の原因になります。



専用電源

湿気の多い所や、水のかかり易い場所に据え付けないこと

絶縁低下から漏電、感電の原因になります。



湿気禁止

屋外で使用しないこと

雨水のかかる場所で使用されますと、漏電・感電の原因になります。



屋外禁止

熱器具（ガスコンロ等）を周囲に置かないこと

熱でプラスチックが溶けたりして危険です。



熱器具禁止

この製品は業務用ですので子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところに設置しないこと

感電、ケガの原因になります。



禁止

⚠ 注意

丈夫で平らな所に水平になるように据え付けること

据え付けに不備があると転倒、落下によるケガなどの原因になることがあります。



水平設置

直射日光の当たるところで使用しないこと

プラスチックが割れたりして危険です。



禁止

■運転前の確認

- 周囲温度10～40℃でお使いください。
使用温度範囲は周囲温度10～40℃です。この温度範囲以外では、正常に動作しないことがあります。
- 電源は交流100Vに接続してください。
使用電源電圧は90V～110Vでお使いください。但し発電機は使用しないでください。発電機使用時の故障は保証いたしません。
- 初めてお使いになる時は、保管時にホコリ・ゴミなどが切削台・切削ドラムなどに入っている恐れがありますので、掃除をしてください。（P.9 毎日のお手入れ参照）

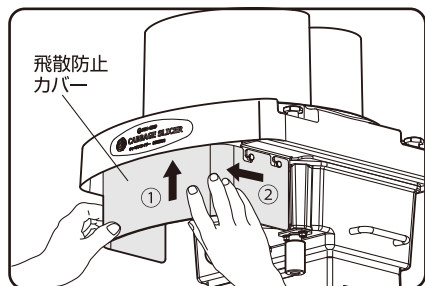
■その他

- 本体を運搬するときは、とって部分または金属部分を持ってください。
注意）本体のプラスチック部分を持つと、設定した厚みが変わることがあります。持たないようにしてください。

■ 運転の手順

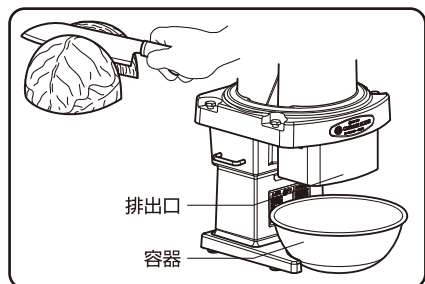
お願い

●製品の上に物を載せないでください。



1 電源プラグを差し込み、飛散防止カバーを取り付ける。

- 電源スイッチがOFF(切)になっていることを確認し、電源プラグをコンセントに差し込んでください。
- 飛散防止カバーの切欠き部を本体のピンに通し、手前にスライドして取り付けてください。



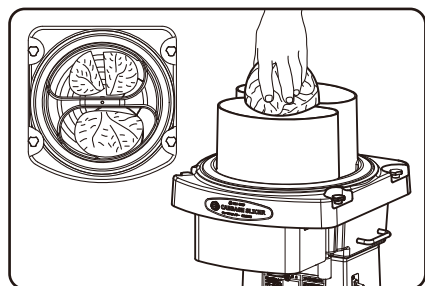
2 材料と容器を準備する。

- スライスするキャベツを切削ドラムに入る大きさ(半分もしくは1/4)に切り、芯を取り除いてください。
- 排出口の下に容器を置き、スライスされたキャベツを受けます。



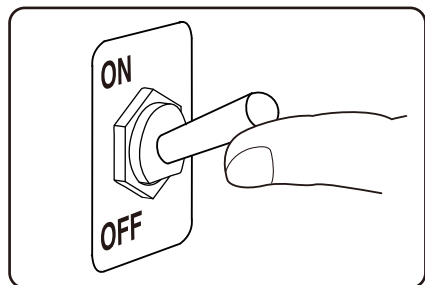
3 スライスする厚さ調節をする。

- スライス粗さ調節ツマミを回してお好みの厚さに調節してください。
 - スライス粗さ調節ツマミを右へ回すと厚くなり、左へ回すと薄くなります。切削厚さ調節範囲は0.8~5mmです。
- *ツマミの調節は、必ず運転しながら操作してください。停止した状態だと、ツマミが硬く上手く調節できない場合があります。



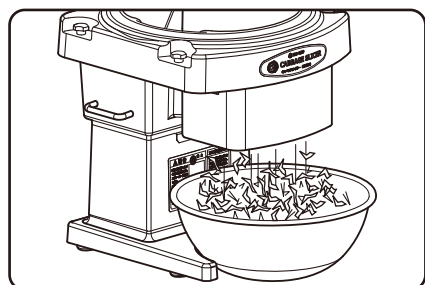
4 キャベツを投入する。

- キャベツの切り口が下になるように、切削ドラムの中に入れてください。
- 無理やり野菜を切削ドラムに入れると自重で野菜が下がらない為、切削できません。スムーズに入る程度に野菜を切ってください。



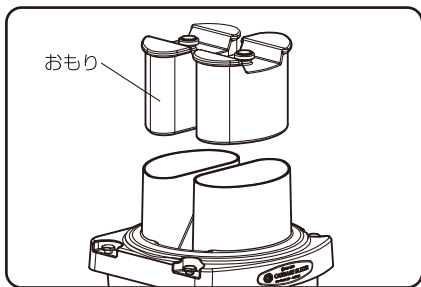
5 電源スイッチをON(入)にする。

- 電源スイッチをON(入)にしてください。運転が開始します。
- ※運転中に投入口や排出口へ手や指を入れないでください。ケガの原因になります。



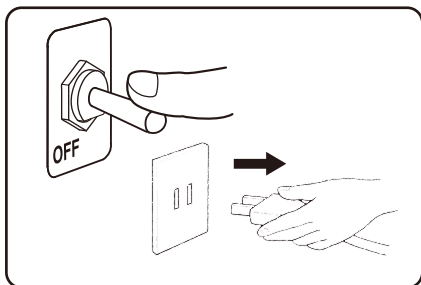
6 排出口からキャベツが排出される。

- スライスされたキャベツを用意した容器で受けてください。



7 キャベツが小さくなったら「おもり」を使う。

- 本製品は、キャベツの自重で切れるようになっていますが、キャベツが小さくなって最後まで切れなくなりましたら、付属品の「おもり」をのせてください。
- ※おもりを使用するときやキャベツを補充するときは、必ず電源スイッチをOFF(切)にして行ってください。
- ※「おもり」の重さは設定してあります。水などを入れずにそのままご使用ください。

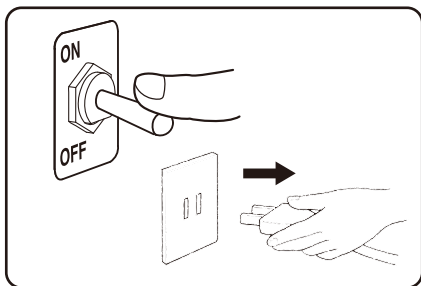


8 電源スイッチをOFF(切)にする。

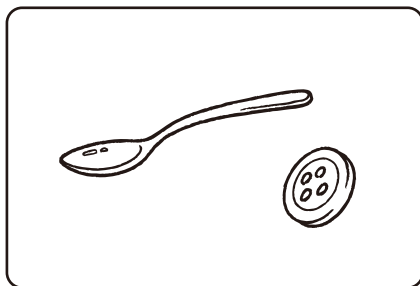
- 電源スイッチをOFF(切)にしてください。運転が停止します。
- ※1日の営業が終了しましたら、安全のため電源スイッチをOFF(切)にし、電源プラグをコンセントから抜いてください。

■プロテクターについて

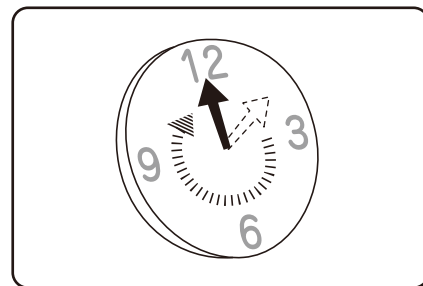
- モーターに負荷がかかり過ぎると、モーターの温度が上昇し、自動的にプロテクターが作動して、製品を止める装置です。
- プロテクターはモーターに内蔵しております。
- 作動したときは、次の処置をしてください。



- 1 電源スイッチをOFF(切)にし、コンセントから電源プラグを抜いてください。



- 2 過負荷の原因を取り除いてください。食材、食材以外の異物(スプーン、つま楊枝、ボタンなど)を取り除いてください。また、刃物に損傷がないか確認してください。



- 3 1時間程放置してください。モーターの温度が下がり自動的に復帰します。
※プロテクターがたびたび作動する場合は販売会社にご相談ください。

■安全スイッチについて

- 運転中に安全カバーを取り外すと、危険防止のため、安全スイッチが働き製品が停止します。
- 安全スイッチを電源スイッチのかわりに使うことは絶対にしないでください。故障の原因になります。

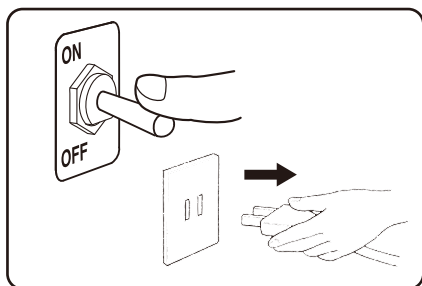
お手入れ

お願い

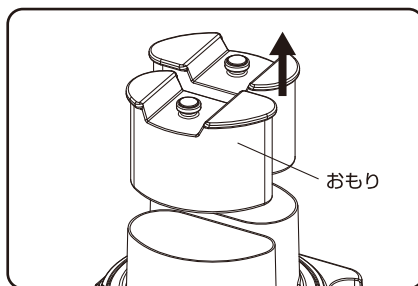
- 40℃以上のお湯で洗ったり、食器洗浄機・乾燥機・消毒保管庫などを使用しないでください。プラスチックが変形することがあります。（切削ドラム・切削台・飛散防止カバー・スクレーパー・おもり・安全カバーなど）
- プラスチック部には、つぎのようなものは使わないでください。プラスチック面を痛めます。シンナー・ベンジン・アルコール・石油・粉石けん・みがき粉・アルカリ性洗剤・酸・次亜鉛素酸ソーダ・たわしなど。
- 化学雑巾・アルコール除菌剤をご使用のときは、その「使いかた」に従ってください。

■毎日のお手入れ

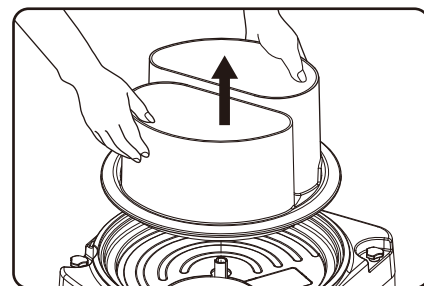
●ご使用後は必ずお手入れをしてください。野菜が残っていると腐るなどして衛生的によくありません。



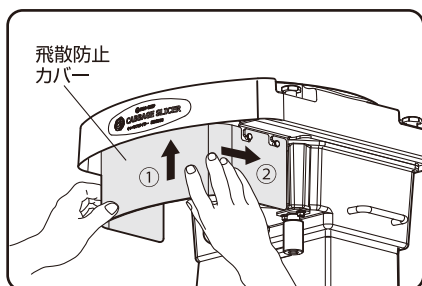
- 1** 電源を切る
電源スイッチをOFF(切)にし、コンセントから電源プラグを抜いてください。



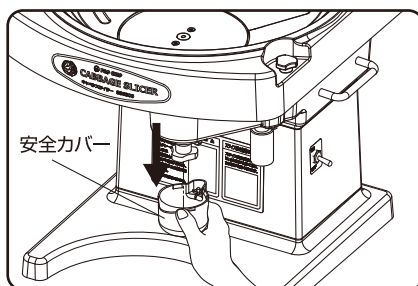
- 2** おもりを取り外す



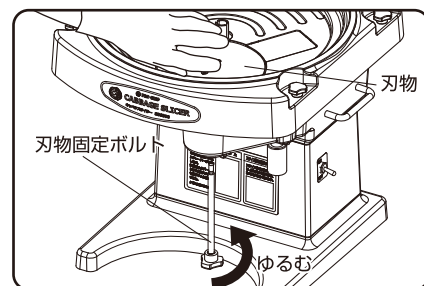
- 3** 切削ドラムを取り外す
切削ドラムを上へ引くと抜けます。



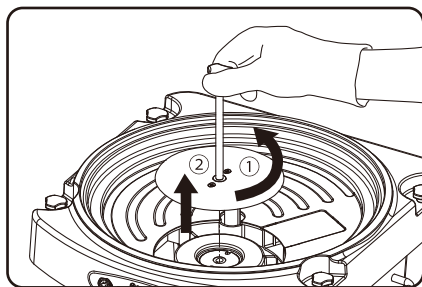
- 4** 飛散防止カバーを取り外す
①飛散防止カバーの手前を持ち上げ、②奥にスライドして取り外してください。



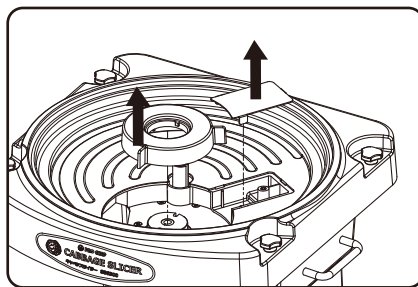
- 5** 安全カバーを取り外す
安全カバーのツバに指をかけ、下方向に引っ張りながら取り外してください。



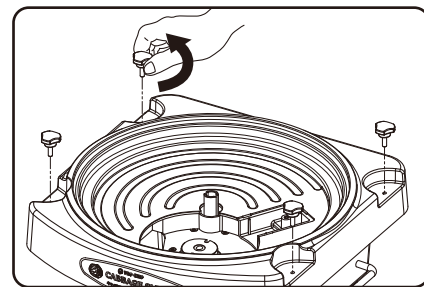
- 6** 刃物固定ボルトを取り外す
手袋をはめた左手で刃物を軽く押え、右手で刃物固定ボルトを矢印の方向に回して取り外します。



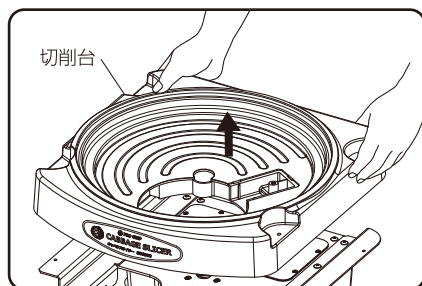
- 7** 刃物を取り外す
①刃物固定ボルトを刃物の中心にあるネジに上からねじ込んで②刃物固定ボルトを引き上げて刃物を取り外してください。



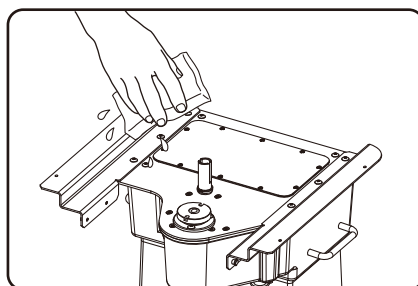
- 8** スクレーパーと研磨カバーを取り外す
スクレーパーと研磨カバーを上へ引き抜いてください。



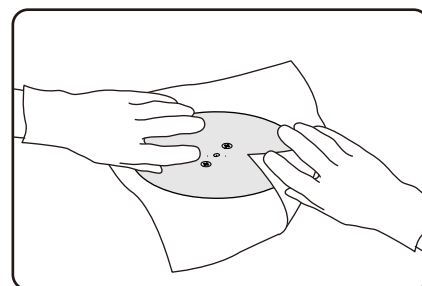
- 9** ノブボルトを取り外す
ノブボルトを矢印の方向に回し、取り外してください。



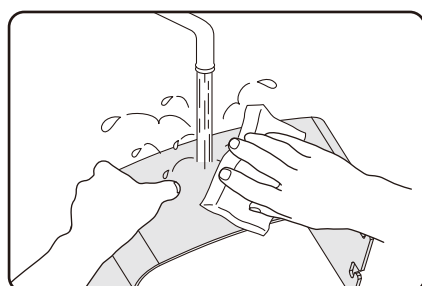
- 10** 切削台を取り外す
 切削台を上を持ち上げ取り外してください。



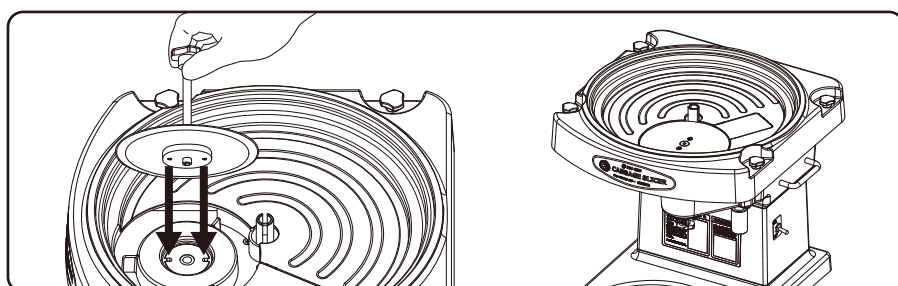
- 11** 本体の掃除
 スポンジに含ませた水で洗い流してください。布巾や歯ブラシ等で、キャベツの削りカスが残らないように拭き取ります。



- 12** 刃物の掃除
 水洗いしてから乾いた布で水気を十分にとってください。

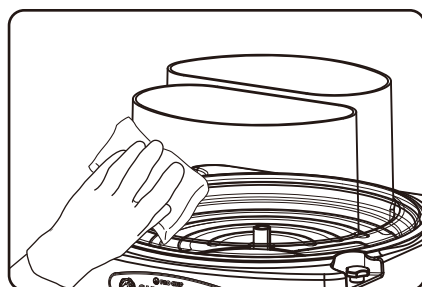


- 13** 取り外した各パーツの掃除
 取り外した残りの各パーツは、台所用洗剤とスポンジタワシで洗った後、よく水洗いして乾いた布で水分をよく拭き取ってください。乾燥後、逆の手順で組み立ててください。



- 14** 組み立てをする
 乾燥後、下記の事に注意し逆の手順で組み立ててください。刃物取付ネジを刃物軸の2箇所への切り欠きにあわせ、刃物を刃物固定ボルトで取り付けます。確実にはまっていないと刃物が傾き、切削できません。（上図参照）

■汚れが目立つときのお手入れ（本体外面）



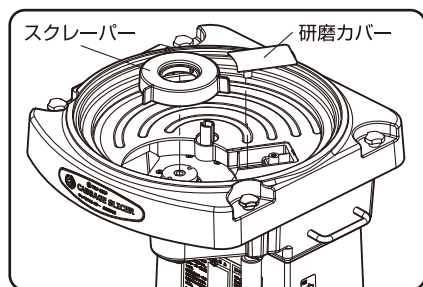
- 柔らかい布にぬるま湯を含ませた布巾で拭いてください。落ち難い汚れはぬるま湯か水でうすめた中性洗剤をしみこませた布で拭いてください。その後洗剤分が残らないように水拭きしてください。

刃物の研ぎ方

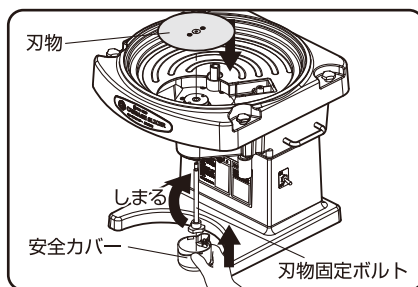
●刃物の切れ味が悪くなった場合は、付属の研磨器セットを使用して、刃物を研いでください。尚、この時はおもり・切削ドラム・スクレーパー・研磨カバーを外しておいてください。

お願い

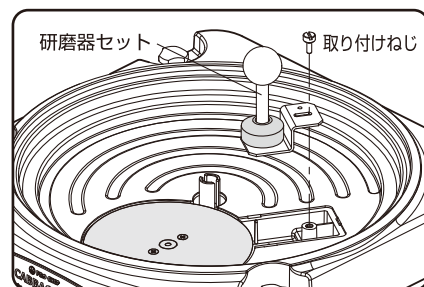
- 刃物を回転させるときは、研磨器セットを取り付けてから電源スイッチをON(入)にしてください。
- 刃物のかえり(バリ)を取るときは、砥石を強く刃物に押し当てたり、長時間押し当て続けしないでください。刃物がかえって悪くなります。



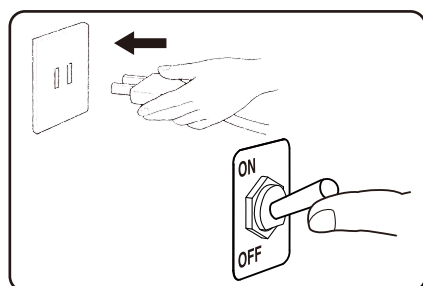
1 スクレーパーと研磨カバーを取り外す
お手入れの手順(p.9参照) ①~④を参照して、スクレーパーと研磨カバーを取り外してください。



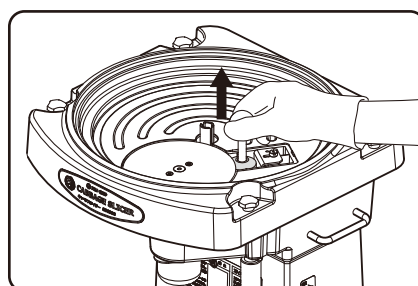
2 刃物を取り付ける
必ず手袋を着用し、刃物を刃物固定ボルトで取り付け、安全カバーを取り付けてください。スクレーパーは取り付けしないでください。



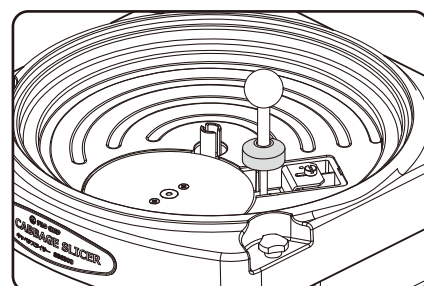
3 研磨器セットを取り付ける
刃物の下に砥石がくるように研磨器セットを取り付け、付属のねじで固定してください。



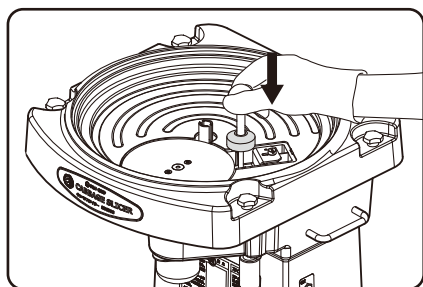
4 電源スイッチをON(入)にする
電源プラグをコンセントに差し込み、電源スイッチをON(入)にしてください。刃物が回転しますので、手や指で触れないよう注意してください。



5 刃物を研磨する
砥石のツマミを引き上げ、刃物の下側に押し当ててください。約3秒位砥石を断続的に当ててください。2~3回繰り返します。必ず刃物の下側から先に行ってください。



6 砥石をセットし直す
電源スイッチをOFF(切)にしてから、研磨器セットの取り付けねじをゆるめて、砥石が刃物の上にくるように取り付け直し、取り付けねじで固定してください。



7 刃物のかえり(バリ)をとる
砥石を刃物の上側に軽く当ててください。(2~3秒)強く刃物に押し当てたり、長時間押し当てないでください。

- 研磨、かえり(バリ)の作業が終わりましたら、必ず電源スイッチをOFF(切)にしてください。
- 研磨装置を取り付け直すときは、必ず電源スイッチをOFF(切)にしてください。

点検

■ 1年に1～2回の点検

警告

電源プラグの刃及び刃の取り付け面にほこりが付着して
いないか定期的に確認し、ガタツキのないよ
うに刃の根元まで確実に差し込むこと

ほこりが付着したり、接続が不完全な場合
は、感電、火災の原因になります。



点検掃除

電源コードを傷つけたり、汚さないこと

加工したり、引張ったり、たばねたり、重
いものを載せたり、はさみ込んだり、また
汚したりすると、電源コードが破損し、感
電、火災の原因になります。



禁 止

電源コード・プラグの点検

●専用コンセントを使用されていますか？

他の機器と共用になっているときは、専用コンセントに差し換えてください。

●電源プラグの刃の取り付け面及びコンセントに、ホコリが溜まっていませんか？

ホコリがついている場合は、ホコリを取り除いてください。

●電源コードが傷ついたり、束ねたり、重いものを載せたり、挟み込んだり、汚れていませんか？

異常がある場合は代理店または、電気店に相談してください。

■ 保管方法

一週間以上使用しないときは、製品を十分に乾燥させてから、湿気のないところに保管してください。

譲渡・廃棄

■ 譲渡

注意

このお使いになっている製品を他に売ったり、
譲渡されるときは、新しく所有者となる方が安
全な正しい使い方を知るために、この
取扱説明書を製品本体の目立つところ
にテープ止めすること



テープ止め

■ 廃棄

注意

廃棄は専門の業者か、最寄りの代理店に
依頼すること

放置しますとケガの原因になることが
あります。



専門業者

故障の見分け方と処置方法

警告

修理技術者以外の方は絶対に分解したり、修理しないこと（お手入れ作業は除く）

異常作動してケガをしたり、修理に不備があると感電、火災などの原因になります。



分解禁止

お願い

- 故障かな？と思ったら、次のことをお調べください。それでも不具合が直らないときは、最寄りの代理店へご連絡ください。代理店へ連絡するときは、型式・製造番号・据付年月日と故障状況をお知らせください。
- 新しい刃物など、部品のご注文につきましては、最寄りの代理店へご連絡ください。

現 象	お調べいただきたいところ	処 置 方 法
刃物や切削ドラムが回らない	●電源プラグが抜け落ちていませんか？	●コンセントにしっかり差し込んでください。
	●電源スイッチがOFFになっていませんか？	●ONにしてください。
	●安全カバーが外れていませんか？	●安全カバーを取り付けてください。 (P.8~9 参照)
	●プロテクターが作動していませんか？	●プロテクターの項参照。(P.8 参照)
	●刃物か切削ドラムのどちらかが止まっていますか？	●ベルトが切れています。代理店に連絡してください。
キャベツの切れ味が悪くなった	●刃物が摩耗していませんか？	●刃物を研磨してください。 (P.11 参照) ●新しい刃物と交換してください。 (P.9 参照)
	●キャベツの切れカスが切削台に溜まっていますか？または、刃物に切れカスがくっついていませんか？	●切れカスを取り除いてください。
	●厚み調節が出来ていますか？	●スライス粗さ調節ツマミを回し、切れる厚さに調節してください。 (P.7 参照)
	●キャベツが大きいため、切削ドラムに挟まっていますか？	●キャベツを切削ドラムにスムーズに入る大きさに切ってください。 (P.7参照)
	●刃物が欠けていませんか？	●新しい刃物と交換してください。 (P.9参照)
	●刃物にキャベツの乾いた汁が付着していませんか？	●刃物を研磨してください。 (P.11参照)

仕様

品名	キャベツスライサー
型式	SS6300
電源	単相100V 50/60Hz
定格消費電力	75/90W
定格時間	連続
質量	17kg
外形寸法	幅360mm×奥行380mm×高さ507mm
処理能力	0.9/1.2kg/分 (0.8mm厚)
切削厚さ調節範囲	0.8~5mm
付属品	①取扱説明書……………1部 ②安全カバー……………1個 ③飛散防止カバー…1個 ④おもり……………2個 ⑤研磨器セット… 1set
別売品	排出補助板

保証書

品名	キャベツスライサー
型式	SS6300
お買上日	年 月 日
保証期間	1 年
お客様の住所	
お名前	
販売店名住所	

※必ず各欄をご記入ください。

●故障が発生した場合は本書記載内容により修理いたします。

- 保証期間内は無料修理いたします。
ただし、次の場合は保証期間内でも有料になります。
 - 誤った使用目的・使用方法・改造による故障。
 - 落下・火災・地震など天災地変による故障。
 - 消耗部品の交換。・保証書のないもの。
- 保証期間後は、修理できる製品についてご希望により有料修理いたします。
- 保証書は紛失されても再発行いたしません。
- 保証書は日本国内で使用される場合のみ有効です。
(This warranty is valid only in japan.)
- 保証期間の外に関わらず、機械の故障により発生した業務上の保証（操業保証）はいたしません。

CHUBU
株式会社 中部コーポレーション

〒511-0944 三重県桑名市大字芳ヶ崎字堂ヶ峰1533の1



アフターサービスについて

- 保証書は記載内容をご確認の上大切に保管してください。紛失されても再発行は致しません。
- 保証書にお買い上げ日、販売会社など所定事項の記入がないと有効とはなりません。記入がないときはすぐにお買い上げの販売会社にお申し出ください。
- 万一、故障した場合には、保証期間中は保証書の記載内容に準じて無料修理を致します。
- 詳細は保証書をお読みください。
- 保証期間内の修理などアフターサービスについてご不明のときは、お買い上げの販売会社、または、最寄りの当社営業所までご連絡ください。

CHUBU
株式会社 中部コーポレーション

フード機器事業部／三重県桑名市大字芳ヶ崎字堂ヶ峰1533の1 〒511-0944
東 京／TEL 03 (5833) 9968 大 阪／TEL 06 (6788) 2251
中 部／TEL 0594 (32) 1130 福 岡／TEL 092 (474) 1312